

そろ〜り再開！

がま研の本年度事業計画

コロナによる行動制限も三年目に入り第7波に突入
がま研も対策を取りながら、活動実施にむけて動き出しました！



第44号
発行
筑波山がまの油売り口研究会

今年はやります！！

がまの油売り口上講座

- 日程 ① 9月17日(土)
② 10月1日(土)
③ 10月15日(土)
④ 10月29日(土) 計4回
- 時間 午前10時から11時
筑波山の歴史や口上の由来等
午前11時～正午
教本を使った実技指導
- 会場 土浦市 小町の館
- 募集 30名
3回以上出席できる人が対象で
修了証を発行
- 受講 無料
- 講師 佐藤貞弘 氏
- 申込先 林会長(午後7時～9時)
☎029(862)3629

*興味をお持ちの方がおられましたら、ぜひお誘い下さい。また会員の方の参加協力も歓迎です。
(常陽リビング、新聞数社にも掲載あり)

令和4年度 定期総会

例年3月末に開催される総会ですが、感染状況を考慮して5月14日(土)の開催となりました。講演会等は実施せず、年会費は通常半額の1,000円を徴収。事業計画・収支予算が承認されました。



歴史探訪会 鹿島神宮を訪ねて

6月18日(土)久々に希望者が集っての歴史探訪会。
集合の大鳥居前には、時間がうまく計算できず、ギリギリ到着という参加者も続出。一方、水戸教室からの参加者は、現地のみならずその道中をも楽しもうという元少年達。鹿島鉄道に乗って沿線の風景やお喋りに興じて(?)余裕の到着。せんべいやキャラメルが行き来したのかもしれない。
この時期、活動を自粛しているふるさとガイドさんを、地元会員の笹本さんのご尽力によりお願いすることができた。ユーモアのある的確な案内に、歴史と自然に触れる有意義な半日となり、是非再訪したいとの思いを強くした。(田神まさこ)



忘年会は中止になります

飲食をともなう宿泊は、今しばらくお待ちください。健康維持につとめ、開催の暁には元気にご参加いただけるようお願いしております。
手ごろな会場をご存じの方は、本部までお知らせください。



「忘れ物はないかな？」ついたてに傘、お面に衣装に…と、車いっぱい小道具を詰め込んで、現地の幼稚園に集合。そこにはステキな仲間が待っている。さあ、今日はどんな出会いがあるのか？演目はおかめひよつとこ、手品に玉すだれ。

つくばねシスターズとしてのデビューは昨年十一月二十七日のこと。知りあいの方から、シルバー会の催しに、がま口上・おかめひよつとこ・南京玉すだれを見せて欲しいとの話があり、それならこの場合は三人でやろうということになった。そこで可愛く「つくばねシスターズ」とネーミング。つくばね会の気心の知れた仲間が、都合のいい時に参加可能で、がま口上に限らずその時々に応じて自分の得意分野も披露できたら…と。

(ジェンダーフリーの時代、オニ・オネエも、勿論あり)

さて、当日の会場は、コロナ禍に伴い屋外公園となったが、開始直前思わぬ事態に。天気は良いが突如大風が吹き出し、まずは「おかめ・ひよつとこ」の準備物が容赦なく勇ましく吹っ飛ばぶ。仕方がない自然に逆らえないと肚を決めて幕が開く。「ようし！おいらはひよつとこだあ！」すると掛け声や相棒も現れ、皆さんが応援して盛り上げてくれる。乗りに乗って、と(飛)んだハプニングの幕開けとなった。次第に大風も収まり次の「がま口上」は、田神さんにお任せ。歯切れの良い口上と刀さばきが今日も絶

出番ですよ！ つくばねシスターズ

つくばね会 市村 文子



好調で観客を魅了。締めは、梅之屋はま梅こと名人池田さんを師匠に、シスターズうち揃ったの「南京玉すだれ」。秋空のごとく晴々と華やかにできた。

こうして皆様と共有できたこの催しは、とても貴重な体験だったこの交流がきっかけで更に次の大きな催しに参加することとなったこれも有り難いご縁の賜物かと。

それは、今年五月七日「つくば市シルバード発足三十周年記念行事」への出演依頼であった。会場は観客千人規模の市民ホール谷田部。演目は、オープニングに保存会の金野名人(第二十代永井兵助)による「ガマ口上」であるため、「おかめひよつとこ」南京玉すだれ」を通して四分のお話。わくわくしながら何度か三人での通し練習も重ね準備を進めた。話し合うことに構想が膨らみ、踊りのなかで田神さんが男役で登場することに。当日も、会場一杯の笑いと拍手を頂き大成功に至った。あの大舞台での経験と感動は今も心に焼きついている。



強風にもコロナにも負けず熱演



市民ホール谷田部の大舞台にて

その後、七〜八月にも、幼稚園や保育園の夏祭

りや亀城公園での「駄菓子屋の屋敷校」、天満宮の「八朔祭」と、続いての出番となった。

新型コロナウイルスの影響で身近な地域や人との交流も少なくなり、お祭りを知らない子ども達が多いと言う。私たちがお祭りごっこの一部でもやって、一緒に参加し遊んで笑ってもらえたら嬉しいこと。このような触れ合いの場を大切にしながら、自分の腕を磨きバリエーションを広げていけたらと思う。一人で頑張らなくても二人なら、さらには、「三人寄れば文殊の知恵」と諺にもあるように学びの場にもなり、アイデアも広がる。池田さんの願いのように、いつか玉すだれの輪を五つ六つと連ねて、大輪の花にして、皆さんに見て頂く時がきますように。

地元でがま口上を演じ続けると「ああ、がま口上ね。」と、ちよつと冷やかな反応に出会うことも。緻密に構成され、各自が工夫を凝らす口上の素晴らしさを伝える使命と共に、依頼側が求める気軽な笑いや楽しみにも応えていければと思う。がまの油売り口上研究会と名乗りづらい時に、シスターズのネームが頑張ってくれている。



園児も巻き込んで盛り上がる夏祭り

今、思うこと

小町塾 石川 博美

私がこの世に命をいただいてから、現在七十三歳になりました。時代が移り変わり寂しいことに、この世の仕組みは、良い方向には動いていない気がします。

それは、行政の仕組みの在り方です。警察と役所と私たちの繋がり方です。すなわち、連携がうまく取れていないのが現状ではないでしょうか？一つの例を挙げるならば、皆様ご存じとは思いますが、県の政策それは、地面の表示（自転車専用道路標示 写真←）が、ある日突然描かれた事



です。

しかも、自転車走行時、守って利用走行している人が居りません。何故なのでしょう？原因は、PR等の不足と、指導が全く行われていないことではないでしょうか？（関係機関にはPRと指導をしてほしいと話していますが）私たちに、

この件について、お知らせや指導が全く行われていないのは残念です。税金の無駄使いになりかねませんね。

住みにくい世の中になっていきますね。安心した街づくりを目指す、そして安心して相談できる警察と役所を、望みたいと思います。

話は変わりますが、茨城県には筑波山がそびえ立っています。昔は土浦市の管轄でしたが、現在はつくば市の管轄となってしまっています。筑波線も廃線となってしまいました。寂しいですね。自然の整備がうまくいかず、自然界の生き物、カエルさんたちの住処が少なくなってしまうと思います。生き物の（人間も含む）住みよい環境を取り戻したいものです。

そしてまた、伝統芸能についても大切に継承しなくてはならないと思っています。特に筑波山のがまの油売り口上は、テレビの無い時代において、言葉だけで風景等を想像させてくれていました。巧みな言葉の構成が素晴らしいのではないのでしょうか？そんな口上に感銘を覚えました。これからも後世に受け継がれるよう願っています。



豆知識

石川さんのご指摘は、自転車が通行すべき部分と進行方向を示しているものです。「自転車ナビマーク」は主に車道の左側端に設置され、自転車のイラストと矢印が描かれています。「自転車ナビライン」は主に交差点とその付近に設置され、青色の矢印となっています。警視庁交通規制課によると、「これは、自転車の通行方法をわかりやすく伝えるもの。このマークは法定外表示なので、車両などが通行したとしても違反ではない」とのこと。『自転車はこの場所をこの方向に走ってください』というヒントを与えるだけのものといえます。

似たものとして、「自転車専用通行帯」があります。こちらは法令で定められているもので、例外はあるものの自転車はこの通行帯以外を走行することはできません。加えて、バイクやクルマでの走行は原則NGです（左折時や一時的な停車の場合は進入可能）。



自転車専用通行帯

歲月とともに交通弱者となる我々には、丁寧な説明や案内が欲しいものです。

あの大御堂を支えた礎石は

今いずこに・・・④

佐藤 貞弘

「昔あったあれは今どうなっているのだろうか」シリーズの第四弾。今回は大御堂を支えた礎石についてです。

昔あったあれは今どうなっているのだろうか。筑波山に関連するものを中心に軽く紹介します。一六三三年(寛永一〇年)徳川三代将軍家光により建立された知足院中禅寺は、本堂(大御堂・千手堂)を中心に多くの堂社が立ち並び一大観光地として賑わっていたが、江戸時代から明治時代への転換期に廃仏毀釈で中禅寺が廃され、大御堂や堂社、多くの仏像・仏具が焼き捨てられたという。

その後大御

堂の跡地には一八七五年(明治八年)に最初の筑波山神社拝殿が建てられ、一九二八年(昭和三年)に増築改修されたものが現在の建物である。

その後拝殿の前庭はきれいに整備され、随



大御堂礎石・旧境内(関東の名山筑波山より)



青木屋前の石垣



神門から続く正面石段の左側(西方)石柵の前には大御堂で使われていた礎石が等間隔に置かれ中禅寺の寺勢を偲ばせていたので、この礎石を見たことのある方は多いかと思われるが今はない。さて、この礎石はどうなったのだろうか。筑波山神社への道は狭く、大型バスにとってはより慎重な運転が要求される。また神社前へ進行してもUターンが大変であったが、現在では筑波山ホテル青木屋前の道路を拡幅して出来るようになっていいる。大きく削られたUターン箇所(山側斜面)は二段の石垣で保護されているが、実はこの石垣の一部に大きな十七個の礎石が利用されており、訪れるお客様の安全を見守っているかのである。

がま研のホームページ随時更新中!
是非お気に入り登録をお願いします。
本部・支部の活動も反映されています。

<http://gamaken.wp.xdomain.jp/>



編集後記

思うように動いてくれないことに愛想をつかし、家族の勧めもあって、新しいパソコンを購入。こんなことなら、もっと早く決断すれば良かったと、使いこなす技術も伴わなくせに、その反応の速さに感動の拳を突き上げています。

コロナは未だ終息には至らず、感染者の全数把握は、見直されることになりました。必需品の値上げも相次ぎ、生活全体を見直す必要があります。引き続き活動の制限はありますが、ウイズコロナ、上手に付き合って委縮した生活からは抜け出したいものです。さあさあさあお立ち合いー、と響き渡る口上に遠慮はいらなくなりますように。

次号の原稿は二月末までにご投稿いただければ嬉しく思います。手書き・郵送(田神宛)・メールなど、どんな形式でも大丈夫です。

編集子

メール投稿先

tgod6474@i-next.ne.jp